

2024 年度 札幌大谷大学芸術学部音楽学科
一般選抜 I 期

楽典

注意事項

- 1 試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 問題冊子は3ページあります。
- 3 試験中に印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて試験監督者に知らせてください。

一般選抜 I 期

楽典

I. 次の譜例について、後の問いに答えなさい。

Allegro non tanto e comodo

Violin I
Violin II
Viola
Cello

Vn. I
Vn. II
Va.
Vc.

mp
mp
mp
mp

pp
pp
pp

mp espressivo

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮

(C. ニールセン：弦楽四重奏曲第4番 作品44より第1楽章)

1. 譜例中の①～⑱の音から指示された、二音間の音程を答えなさい。

- | | | |
|-------------|------------|------------|
| 1) ①と②との音程 | 2) ③と④との音程 | 3) ③と⑤との音程 |
| 4) ④と⑤との音程 | 5) ⑥と⑦との音程 | 6) ⑧と⑨との音程 |
| 7) ⑩と⑪との音程 | 8) ⑫と⑬との音程 | 9) ⑭と⑮との音程 |
| 10) ⑯と⑱との音程 | | |

2. 次の音階の上行形と下行形を書きなさい。ただし、必ず調号を使って書くこと。

- 1) 譜例と同じ調号を持つ長調の音階
- 2) 譜例中の⑤を主音とする長調の音階
- 3) 譜例中の⑨のエンハーモニック（異名同音）を主音とする短調の和声的短音階
- 4) 譜例中の⑭を主音とする短調の和声的短音階
- 5) 譜例中の⑮を主音とする短調の旋律的短音階

3. 譜例の第5小節～第8小節のViolin Iのパートを、指示されたとおりに移調しなさい。ただし調号は使わず、臨時記号のみを用いて書くこと。

- 1) 高音部譜表を使って、短3度下に
- 2) 低音部譜表を使って、1オクターブと短6度下に

Ⅱ. 次の楽語の意味を下の語群から選び、その記号（イ～ヲ）を書きなさい。

1. Poco a poco 2. Tempo rubato 3. Lamentoso 4. Smorzando 5. Animato
6. Sforzando 7. Adagietto 8. Grandioso 9. Tenuto 10. Meno mosso

- イ. 悲しげに ロ. だんだん遅く消えるように ハ. 特に強く ニ. 壮大に
ホ. 少しずつ ヘ. 極めて遅く ト. やや遅く チ. 今までより遅く
リ. 次第に速く ヌ. 速さを自由に加減して ル. 音の長さを十分に保って
ヲ. 生き生きと

Ⅲ. 試験開始の40分後に始まる音楽M1～M5を聴き、拍子、長調・短調、主な楽器、形式などを、解答表の空欄に記入しなさい。時代については、1) バロック、2) 古典派、3) ロマン派の中からいずれかを選び、その語句を書きなさい。